

政活費7640万円返還 監査請求

町田の市民団体 市長らに求める

町田市議会の政務活動費に不適切な支出があったとして、市民団体「町田市政を考える会・草の根」（小林美知代表）は10日、約7640万円を返還させるよう石阪丈一市長らに求める住民監査請求を行った。

対象は、2013～17年度に各会派に交付された政務活動費。同会は市議会の各会派を対象に、会計帳簿や領収書などを情報公開請求で入手した。帳簿には、日付と支出金額、目的などは記されているものの、領収書類との関連が明確に示されていないかったという。同会が領収書類と帳簿を突き合わせた結果、ガソリンを同じ日に複数回、給油をしているケースが多く見つかった。同じ議員がパソコンを1年間に2台購入し

たケースもあった。不適切とみられる5年間の支出を積み上げたところ、既に解散した会派も含め、計約7640万円に達したという。

記者会見した小林代表は「政務活動費の多くは、個人のお金として使われているのが実態では」との見解を示し、「監査請求が認められなければ、住民訴訟も検討したい」としている。

町田市の政務活動費は、議員1人あたり月額6万円。町田市監査委員は、要件審査などを経て、60日以内に結果を通知する。